

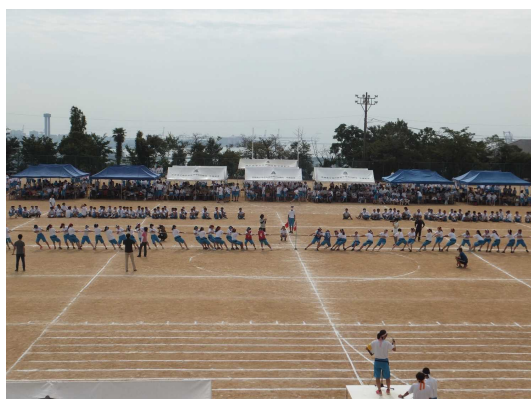
体育大会開催

令和2年9月24日

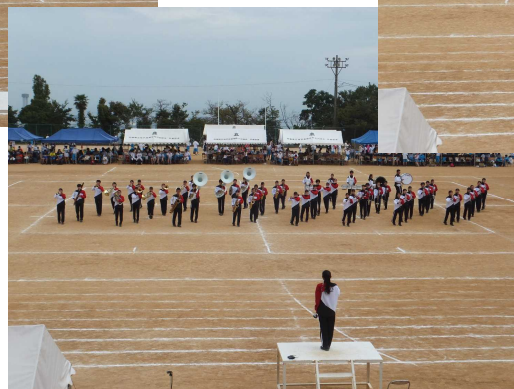
本当に、開催が危ぶまれた体育大会でした。でも、生徒・保護者・職員等、皆さんの知恵、創意工夫、努力によって何とか開催することができました。保護者の皆様には、ご観覧をご遠慮いただきましたが、ご協力誠にありがとうございました。

校歌斉唱もない、ご観覧もない、騎馬戦もない、競技の人数はいつもの半分。あれも消毒これも消毒、マスク、手袋着用等……。

異例づくめの体育大会でしたが、自治会が定めた基本方針どおり、生徒の笑顔があふれていた大会になったと感謝しています。







(校長開会挨拶)

皆さん、おはようございます。

心配していた天気も何とか持ちこたえてくれています。第73回体育大会が、ご来賓、保護者の皆様にはご観覧いただけないものの、何とか開催まで漕ぎ着けられたことを、皆さんと共に喜びたいと思います。

誰も経験したことのないコロナ禍の中、本日を迎えるに当たって、自治会執行部や神高のあゆみ幹部の皆さんは、本当に苦労したことと思います。よくここまで頑張ってくれました。

今大会の基本方針は、「三学年が一体となり、生徒全員が楽しめる体育大会を創る」という趣旨です。得意な人もそうでない人も、誰もが楽しめる体育大会にしよう！これは、素晴らしい方針です。全員が大会中も大会後も楽しい、楽しかったと言えるようにするには、コロナ感染対策を中心とした、ルールをしっかり守ることが大切です。忘れないようにしましょう。

最後になりましたが、昨日の放課後遅くまで、今朝は早朝から準備してくださった先生方、生徒諸君に感謝します。

本日の体育大会が、皆さんの青春のかけがえのない楽しい思い出となることを願って、開会の挨拶といたします。

(運動部激励の言葉)

ただ今、運動部の皆さんの行進を見せてもらいました。

多くの部では、神戸高校の名前や校章が縫い込まれたユニフォームや道着に身を包んでの堂々たる行進でした。そしてこの人数。これぞ神高運動部です。改めて、頼もしく思います。

今は整列していない文化部や委員会で活動しているすべての皆さんに話します。

我らが神高の大先輩である村上春樹さんが、小説の中でこんな言葉を登場人物に語らせています。それは、「希望があるところには必ず試練があるものだから。」という言葉です。

希望があるから試練がある。部活動をしていると試練に直面することがある。皆さんが、試練を乗り越えたとき、その壁の向こうにはどのような希望が見えてくるのでしょうか。今の試練は、次の希望へつながる物なのです。

皆さんの、希望に向けた、たゆまぬ努力を期待して、激励の言葉とします。